

ハンゲショウが見頃です



6月11日撮影（花の中海）

↑タコの立体花壇(ペゴニア)

淡路島国営明石海峡公園では、花の中海で、約5,000株のハンゲショウ（半夏生）が見頃を迎えています。

ハンゲショウは、葉の半分が白く化粧をしたように色づく様子や、雑節の半夏生の頃に咲くことなどが名前の由来といわれています。

また、関西では、半夏生の頃に豊作を祈ってタコを食べる習慣があります。

東浦ロケット前では、ハンゲショウと、茹でタコ色になったタコの立体花壇がご覧いただけます。

淡路島国営明石海峡公園の「ハンゲショウ」を是非ご紹介くださいますようお願いいたします。

ハンゲショウ（半夏生）

科名：ドクダミ科

原産地：日本、中国など

草丈：50～120cm

見頃：7月上旬まで

お問い合わせ先

明石海峡公園管理センター 佐藤・瀧本

ホームページ：<https://awaji-kaikyopark.jp>

★最新情報は“明石海峡公園”で検索。

★本資料カラー版は HP からでもご覧になれます。

